

結 果 の 概 況

二人以上の世帯の家計資産

1 平均家計資産額

(1) 概況

平成16年11月末日現在の二人以上の世帯（全世帯）の家計資産額（純資産額）合計は、1世帯当たり3900万円となっている。これを資産の種類別にみると、宅地資産が2180万円（家計資産合計の55.9%）と最も多く、次いで、金融資産（貯蓄 - 負債）が950万円（同24.4%）、住宅資産が606万円（同15.5%）、耐久消費財等資産が164万円（同4.2%）の順となっている。

このうち勤労者世帯についてみると、1世帯当たり家計資産額合計は2867万円となっており、全世帯と同様、宅地資産が1625万円（同56.7%）と最も多く、次いで、住宅資産が579万円（同20.2%）、金融資産が498万円（同17.4%）、耐久消費財等資産が165万円（同5.8%）の順となっている。

なお、家計資産額の年間収入に対する比率（年収比）は、全世帯で5.6倍、勤労者世帯で3.9倍となっている。（表 - 1）

表 - 1 1世帯当たり家計資産額の内訳

資産の種類	全世帯				勤労者世帯			
	純資産額				純資産額			
	(万円)	構成比 (%)	年収比 (%)	対前回増減率 (%)	(万円)	構成比 (%)	年収比 (%)	対前回増減率 (%)
資産合計	3900	100.0	560.2	-11.1	2867	100.0	385.7	-15.6
金融資産（貯蓄 - 負債）	950	24.4	136.5	6.1	498	17.4	67.0	-9.0
貯蓄現在高	1520	39.0	218.2	4.6	1180	41.1	158.7	2.0
負債現在高	569	14.6	81.7	2.2	682	23.8	91.8	11.9
住宅・宅地資産	2786	71.4	400.1	-15.5	2204	76.9	296.6	-17.2
宅地資産	2180	55.9	313.0	-18.6	1625	56.7	218.7	-21.9
住宅資産	606	15.5	87.0	-2.3	579	20.2	77.9	-0.5
現住居・現居住地	2209	56.6	317.3	-18.2	1869	65.2	251.5	-18.7
宅地資産	1725	44.2	247.8	-21.3	1357	47.3	182.6	-23.9
住宅資産	484	12.4	69.5	-4.9	512	17.8	68.8	-0.5
現住居以外・現居住地以外	577	14.8	82.8	-3.2	335	11.7	45.1	-8.2
宅地資産	455	11.7	65.3	-6.2	268	9.3	36.1	-9.9
住宅資産	122	3.1	17.5	10.0	67	2.4	9.1	-0.6
耐久消費財等資産	164	4.2	23.6	-15.3	165	5.8	22.2	-12.7
耐久消費財	150	3.8	21.6	-10.5	159	5.5	21.3	-9.3
ゴルフ会員権等	14	0.4	2.1	-45.6	6	0.2	0.9	-54.6
年間収入	696	-	-	-8.5	743	-	-	-7.2

（注）純資産額：総資産額のうち住宅資産及び耐久消費財については、経過年数に応じて減価している。
（以下同じ。P28参照）

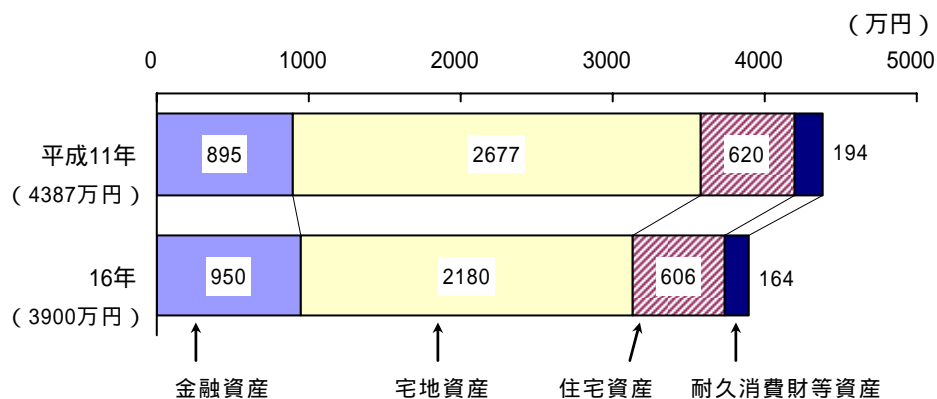
本文及び図表中における資産額は、公表数値（表章単位「千円」）を「万円」単位に四捨五入して表章しているため、合計と内訳は必ずしも一致しない。また、本文及び図表中における構成比・増減率などは、公表数値から計算している。

(2) 前回との比較

全世帯について1世帯当たり家計資産額を平成11年と比べると、11.1%の大幅な減少となった。これを資産の種類別にみると、資産合計に占める割合が最も高い宅地資産が地価の下落などにより18.6%の大幅な減少となっている。このほか耐久消費財等資産、住宅資産がそれぞれ15.3%、2.3%の減少となっている。一方、金融資産（貯蓄・負債）は6.1%の増加（貯蓄4.6%増、負債2.2%増）となっている。

このうち勤労者世帯について平成11年と比べると、家計資産額は15.6%と、全世帯と同様に大幅な減少となっている。これを資産の種類別にみると、宅地資産が21.9%の大幅な減少、耐久消費財等資産が12.7%の減少となったほか、全世帯では増加した金融資産も負債現在高の大幅な増加（貯蓄2.0%増、負債11.9%増）により9.0%の減少となっている。一方、住宅資産は0.5%の減少と、全世帯に比べると減少幅は小さくなっている。（表 - 1，図 - 1）

図 - 1 1世帯当たり家計資産額の前回との比較（全世帯）



(3) 現住居・現住居以外別の住宅・宅地資産の状況

全世帯の1世帯当たり住宅・宅地資産額について、現住居（現居住地を含む。以下同じ）・現住居以外（現居住地以外の宅地を含む。以下同じ）別にみると、現住居は2209万円（住宅・宅地資産額全体の79.3%）、現住居以外は577万円（同20.7%）となっている。それぞれについて宅地資産の割合をみると、現住居では61.9%、現住居以外では16.3%となっている。なお、住宅・宅地資産額を平成11年と比べると、現住居が18.2%の大幅な減少となっているのに対し、現住居以外は3.2%の減少となっている。

また、住宅・宅地資産を保有している世帯の割合は82.0%、現住居以外の住宅・宅地資産を保有している世帯の割合は15.9%となっている。これを平成11年と比べると、それぞれ3.2ポイント、1.3ポイントの上昇となっている。現住居保有世帯の現住居は2750万円、現住居以外保有世帯の現住居以外は3630万円となっている。これを平成11年と比べると、それぞれ21.8%、11.3%の大幅な減少となっている。

なお、現住居以外保有世帯のうち、親族居住用資産のある世帯の割合は39.4%、賃貸用

資産のある世帯の割合は31.6%，別荘などの「その他の資産」のある世帯の割合は43.7%
 となっている。(表 - 2, - 3)

表 - 2 現住居・現住居以外別1世帯当たり住宅・宅地資産額

現住居・現住居以外別		純資産額 (全体の平均)				純資産額 (保有世帯の平均)	
		(万円)	構成比 (%)	保有率 (%)	対前回 増減率 (%)	(万円)	対前回 増減率 (%)
全 世 帯	住宅・宅地資産	2786	100.0	82.0	-15.5	3396	-18.8
	宅地資産	2180	78.2	77.8	-18.6	2802	-21.8
	住宅資産	606	21.8	81.6	-2.3	743	-6.2
	現住居・現居住地	2209	79.3	80.3	-18.2	2750	-21.8
	宅地資産	1725	61.9	76.1	-21.3	2267	-24.7
	住宅資産	484	17.4	80.3	-4.9	603	-9.1
	現住居以外・現居住地以外	577	20.7	15.9	-3.2	3630	-11.3
	宅地資産	455	16.3	12.1	-6.2	3757	-16.3
	住宅資産	122	4.4	10.9	10.0	1118	4.0
勤 労 者 世 帯	住宅・宅地資産	2204	100.0	76.6	-17.2	2878	-20.9
	宅地資産	1625	73.7	72.8	-21.9	2232	-25.4
	住宅資産	579	26.3	76.1	-0.5	761	-5.1
	現住居・現居住地	1869	84.8	74.5	-18.7	2510	-22.7
	宅地資産	1357	61.6	71.0	-23.9	1912	-27.6
	住宅資産	512	23.2	74.5	-0.5	687	-5.5
	現住居以外・現居住地以外	335	15.2	11.4	-8.2	2951	-9.9
	宅地資産	268	12.2	8.5	-9.9	3153	-12.1
	住宅資産	67	3.1	7.6	-0.6	887	0.7

表 - 3 現住居以外の住宅・宅地資産保有世帯の資産の種類別保有率

(%)

資産の種類	全世帯	勤労者世帯
現住居以外・現居住地以外の資産	100.0	100.0
親族居住用資産	39.4	42.1
賃貸用資産	31.6	26.1
その他の資産	43.7	43.8

注) 複数回答のため合計と内訳の計は一致しない。